

※拓海広志（たくみひろし）

1963年神戸生まれ。西神戸の海辺の町・舞子で過ごした少年時代の遊び場はいつも海で、急潮の流れる海で泳ぎ、明石海峡を行き交う大小様々な船を眺めながら、海の向こうにある世界のことを思っていた。それが後に航海学、海洋学、海洋民族学、またロジスティクスやSCMを学ぶようになったことのルーツ。

海と人の関係性を多面的に探求することをライフワークとしており、長年にわたって日本及び世界各地の海と島、港町と漁村を訪ねてきた。旅先で出会った様々な海人たちから学んだことを次代の担い手である子どもや若者に伝えるために、執筆・講演活動を行い、海の詞・曲を作ってバンドで演奏している。著書に『ビジュアルでわかる船と海運のはなし』（成山堂書店）がある。

国際交流促進や、子どもの自然体験及び環境学習活動を支援するNPO活動にも広く参画。1989年には環境活動支援ネットワーク「アルバトロスクラブ」を発足させ、2002年までその代表を務めた。アルバトロスクラブでは、「伝統的帆走カヌーによるヤップ～パラオ間の石貨交易航海再現プロジェクト」（1989年～1994年）を実現し、航海計器や近代的な海図を用いずに、身体知のみを用いて星の動きや自然現象を読み解くことで大海を渡る太平洋諸島民の伝統航海術を体験した。

本名は恵谷洋（えたにひろし）。神戸商船大学（現・神戸大学海事科学部）航海科卒。卒業後は伊藤忠グループで勤務し、ジャカルタ、上海、シンガポールなどに駐在。その後、DHLグローバルカスタマーソリューションズのグローバル営業本部長として世界各国で仕事をし、TNTエクスプレスの取締役営業本部長を務めた後、2012年に楽天に移籍。現在は楽天物流の代表取締役社長を務めている。

仕事以外の趣味は、ヨット、ボート、カヤック、ダイビング、遠泳、ビーチバレーなどマリンスポーツ全般と山歩き、そして読書と音楽。

（※参考記事）

拓海広志 「『グローバル』の普遍性」

<http://d.hatena.ne.jp/HelloseaWorld/20131201>